



特集1 やさしい日本語研修会	P 2
特集2 平成30年度一般財団法人岡山県国際交流協会 年間イベント一覧	P 3
事業報告 国際貢献NGOフェア ほか	P 4
世界の文化 ～デリバリー編～	P 6
Think Global, Act Local ～県内国際団体のご紹介～ ネグロスキャンペーン岡山	P 6
私、岡山に住んでいます アメリカ合衆国 エリック・ボゼイさん(岡山県国際交流員)	P 7
助成金に関するお知らせ 国際理解学習プラン講師派遣事業 ほか	P 8
お知らせ 岡山県国際交流協会公式ウェブサイト 全面リニューアル! ほか	P 9
イベントカレンダー 留学生と県民との交流会 タイ編 ほか	P 10

おかやま 国際交流



講師の野田 尚史氏



どのように話し、書く日本語がうまく伝わるか考え中



やさしい日本語について考える参加者

やさしい日本語研修会

2月10日(土)



こちらのQRコードを読み取り、
動画をご覧ください。

講師：国立国語研究所 教授 野田 尚史氏

日本語が不慣れな外国人に対して、災害時や日常生活において、必要な情報が適切にわかりやすく伝えられるように「やさしい日本語」について学びました。

地域日本語教室のボランティアや多文化共生コミュニケーションサポーター、地域共生サポーターなど、ふだんから外国人と接する機会が多い44名が参加しましたが、これまで「やさしい日本語」を意識していなかった参加者が多くいました。この研修会を通じて、日本語が不慣れな外国人に対して「やさしい日本語」を意識しながらコミュニケーションをとることの大切さを学びました。(詳細は、次ページをご覧ください。)



「外国の人たちに日本語でどう接するか?—やさしい日本語の使用と相手の立場に立った理解—」をテーマに開催しました。

まず始めに、「やさしい日本語」は平成7年1月に起こった阪神淡路大震災をきっかけに、弘前大学の佐藤 和之氏によって、日本語が不慣れな外国人にも分かりやすい日本語として紹介されたこと、「やさしい日本語」にするためには[※]12の規則を使うことを学びました。

そして「日本語を母語としない人たちと接するとき、どのような言葉を使えば分かりやすいか? どのように情報を伝えれば分かりやすいか?」や「日本語を母語としない人たちの日本語を聞く・読む・話す・書く」について、具体的な事例を見ながら考えました。

最後に講師は「言葉よりも伝える気持ち(情熱)が大切。臨機応変に対応すること。やさしい日本語には正解があるわけではない。どれだけ工夫をするか、頭を働かせるかにかかっている。今日で終わりではなく、これからも考えていってほしい」とまとめました。



まとめを話す講師

参加者からは「外国人の立場に立った考え方が、いかに大切かがよく分かった」「日本人同士でも、自分たちにとって当たり前のことが、他人にとっては当たり前でなく、分かり

にくいことは多い。相手が外国人だとより注意が必要だと分かった」「日本人の感覚で話したり受け取ったりすると、認識の差ができることが分かった」などの声が寄せられました。

この研修会は、講師が一方的に話すのではなく、参加者が頭を使って自分で考えることを重視していました。そのため、実際に活動するときに自分で考えらえる力とヒントが得られた研修会になりました。

※参照: 弘前大学人文学部社会言語学研究室「やさしい日本語」
http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/kokugo/EJ9tsukurikata.ujie.htm



やさしい日本語での表現に挑戦

「やさしい日本語」について

「やさしい日本語」とは、ふつうの日本語よりも簡単で、日本語に不慣れな外国人にも分かりやすい日本語です。日本語能力試験3級程度で、小学校2、3年生の語いレベルです。災害時や緊急時に通訳・翻訳をする時間がないときや日常生活で使うことができます。

「やさしい日本語」の例

- ◆ 高台^{たか}に避難する → 高いところへ^に 逃げる
- ◆ 土足禁止 → 靴^{くつ}をぬいでください
- ◆ 平成30年4月1日 → 2018年4月1日^{ねん がつ にち}

「日本語教室開設・活動支援事業」

(日本語教室開設等支援助成金交付制度)

平成29年度報告

以下の団体に助成を行いました。

団体名	倉敷日本語教室
事業名	日本語指導者スキルアップ講座
実施内容	初級学習者への助詞に関する効果的な日本語指導法や検定受験者への対応についての講演、指導助言についての研修会を行った。

平成30年度募集

県内在住外国人にボランティアで日本語を教える活動を推進するため、日本語教室を新規に開設する団体及び既存の日本語教室で質的向上や拡充を図る団体等に対して、支援を行いますので、ご活用ください。

対象団体	県内に住所を置き、月2回以上、定期的かつ自主的に、地域に在住する外国人を対象とした日本語教室を運営、または運営しようとしている個人または団体。
対象事業	在住外国人支援を目的としたボランティアによる日本語教室の開設または質的向上や拡充を図る事業で、原則として平成31年2月末までに実施する事業。
助成金額	1事業につき上限3万円
申請方法及び問合せ	申請書様式を協会のホームページからダウンロードし、郵送または持参。当事業の詳細(実施要項、募集要項)はホームページをご覧ください。詳しくは企画情報課まで。



【月別事業】

(都合により、日程等変更する場合があります。)

予定月	事業名	開催予定日
5月	情報相談コーナー・図書資料室 ボランティア研修会	5月8日(火)
	おかやまフェアトレードデー!	5月26日(土)
6月	英語による絵本の読み聞かせ会①	6月10日(日)
	留学生と県民との交流会	6月30日(土)
7月	日本文化体験・交流会	7月14日(土)
	岡山のCOOL 発見! 第1回	7月16日(月・祝)
	地域共生サポーター養成講座	7月21日(土)
8月	ウェストサイドカーニバル出展	8月11日(土・祝)
	子ども日本語学習サポーター研修会 第1回	8月19日(日)
	子ども日本語学習サポーター研修会 第2回	8月26日(日)
	英語で話そう	8月26日(日)
9月	地域共生サポーター研修会	9月15日(土)
	地球市民講座 第1回	9月28日(金) または10月10日(水)
10月	国際貢献・協力セミナー	10月14日(日)
	岡山を知ろう交流バスツアー	10月21日(日)
11月	岡山のCOOL 発見! 第2回	11月4日(日)
	日本語ボランティアスキルアップ 研修会	11月10日(土) または17日(土)
	英語による絵本の読み聞かせ会②	11月18日(日)
	国際スポーツ交流会	11月24日(土)
	海外マガジンリサイクル	11月中
12月	地球市民講座 第2回	12月8日(土)
	フェアトレード交流会	12月15日(土)
	留学生と県民との交流会 -特別編-	12月16日(日)

予定月	事業名	開催予定日
H31. 1~3月	国際貢献NGOフェア	1月~3月
1月	多文化共生コミュニケーション サポーター研修会①	1月11日(金)
	多文化共生コミュニケーション サポーター研修会②	1月18日(金)
	多文化共生コミュニケーション サポーター研修会③	1月19日(土)
2月	やさしい日本語	2月9日(土) または16日(土)

【今年度行うその他の事業】

開催予定月	事業名
未定	研修員との交流会
未定	災害救援専門ボランティア研修会(全2回)
H31. 1~3月	ボランティア研修会



国際貢献NGOフェア

1~3月

県民への国際貢献・国際協力等への理解を促進する目的で、岡山県の12団体のNGOの活動をパネル展示で紹介し、パネル展示期間中NGO4団体企画によるセミナーも開催しました。



岡山発国際貢献推進協議会展示



岡山青年国際交流会説明会
交流事業の経験を語る参加者



(特活)岡山日本語センターイベント
シェパードパイを調理する様子

展示スケジュール

開催日程	展示団体
1月 4日(木)~1月10日(水)	(特活)岡山県国際団体協議会(COINN)
1月11日(木)~1月17日(水)	インターナショナルボランティアワーク岡山
1月18日(木)~1月24日(水)	ダフェプロジェクト
1月25日(木)~1月31日(水)	日中友好協会岡山支部
2月 1日(木)~2月 7日(水)	(特活)日本・ミャンマー医療人育成支援協会
2月 8日(木)~2月14日(水)	アジアの教育支援の会
2月15日(木)~2月21日(水)	(特活)岡山日本語センター(OJC)
2月22日(木)~2月28日(水)	ガールスカウト岡山県連盟
3月 1日(木)~3月 7日(水)	岡山エスプラント会
3月 8日(木)~3月14日(水)	日本ボーイスカウト岡山連盟
3月15日(木)~3月21日(水)	岡山青年国際交流会
3月22日(木)~3月28日(水)	岡山発国際貢献推進協議会

セミナー イベント

開催日	団体名/テーマ
1月8日(月・祝)	インターナショナルボランティアワーク岡山 「外国人の農業体験ボランティア「ファームステイ」を受け入れて」
2月18日(日)	(特活)岡山日本語センター(OJC) 「活動的な学習と支援—先生の教室は輝いていますか」 「シェパードパイを作ってイギリスを知ろう」
3月11日(日)	日本ボーイスカウト岡山連盟 「新広報戦略 10本の矢「仲間ふやしゲーム」」
3月17日(土)	岡山青年国際交流会 「内閣府青年国際交流事業説明会」

英語による絵本の読み聞かせ会④

2月18日(日)

講師：英会話講師 **コノリー・ロブさん**
岡山大学留学生 **孫 爽さん**

合わせて32名の子どもと大人の参加者を迎え、開催しました。

イギリス出身のコノリーさんは「The Gruffalo」を読み聞かせました。架空の怪獣に対し機転を利かせた掛け合いを展開するねずみの物語は、コノリーさんの経験豊かな読み聞かせの技術により、最後まで子どもたちをひきつけました。中国出身の孫さんの読み聞かせた本は、美しい装丁で日本でも人気のある「The Rainbow Fish」。特殊なうろこを持つ魚が本当の幸せとは何かを模索する物語を、孫さんは丁寧に読み聞かせました。

どちらの絵本も日本語訳を付けることで、子どもたちは内容を理解しながら話の展開を楽しむことができました。

読み聞かせのあとは、絵本「ロンドンタクシー」「ロンドンバス」を使い、コノリーさんがイギリスの生活の様子を紹介しま



コノリーさんの読み聞かせ

した。絵本の内容は分かりやすく、子どもたちは興味津々に聞き入りました。

孫さんはハンカチ落としによく似た中国の子ども遊び

「丢手帕」の実践の指導をしました。子どもたちは英語のみならず中国語にも触れながら遊びました。参加者からは「おもしろい絵本に出会えた」「いろいろな言語に触れられて良かった」などの感想が寄せられました。



子ども遊びの指導をする孫さん



イギリスの紹介

ボランティア研修会

2月18日(日)

講師：奈義未来シェアプロジェクト 代表 横田 久美子氏

岡山県消費生活センター 消費者教育コーディネーター 矢吹 香月氏、消費生活相談員 畠中 恵美子氏



講師の横田氏

当協会ボランティア登録者を対象に研修会を開催し、17名が受講しました。

前半は、奈義未来シェアプロジェクトの横田氏から、ホームステイや仕事体験などを通じて若者の交流人口を増やすため、企業や地域団体と連携を持ちながら、カフェやそば作りなどを実施している事例やボランティアとの関わり方などについて話がありました。

後半は、岡山県消費生活センターの矢吹氏、畠中氏から、近年急増している消費者トラブルの状況や外国籍の方からの架空請求詐欺被害などの相談事例、インターネットで

買い物をする際、ホームページ上に掲載されている特定商取引法に基づく表記を確認するなどの対処法などについて説明がありました。

参加者からは「ボランティアの意義を再確認することができた」「消費者トラブルの具体例やトラブルにあった時の対処方法などを教えてもらえ、とても有意義だった」などの感想があり、今後のボランティア活動に役立つ知識を数多く得た研修会となりました。



講師の矢吹氏(左)と畠中氏(右)

岡山県地域国際化推進団体連絡協議会

2月28日(水)

講師：岡山県県民生活部国際課 副参事 平田 和幸氏

オブザーバー：特定非営利活動法人多文化共生マネージャー全国協議会 理事 明木 一悦氏



オブザーバーの明木氏

災害時の在住外国人の支援活動拠点となる「岡山県災害時多言語支援センター」設置に向け、運営マニュアル机上演習を実施し、協議会構成団体及び市町村職員18名が出席しました。

はじめに、講師の平田氏からセンターが開設した際の運営体制や活動内容について説明がありました。続いて、オブザーバーの明木氏は、平成28年4月熊本地

震発生時に開設した「熊本地震災害多言語支援センター」での多言語情報発信、避難所巡回などの様子を語りました。

参加団体の災害対策の現状について話し合う中で、明木氏から日頃からのネットワークの構築や地域でのコミュ

ニケーションが大切だという助言を受けました。最後に今後の課題について意見交換し、さらなる連携を図ることとしました。



研修会の様子

岡山フェアウェルパーティー

3月3日(土)

この3月で岡山を離れる卒業生・修了生の旅立ちをお祝いするパーティーを開催し109名が華やかな衣装を身にまとい集いました。



岡山を離れる3名(左から)

岡山を去る方は、日本語講座の恩師や友人との出会いなど岡山での思い出を語りました。岡山戦国武将隊は、少し恐怖を感じるほどの勇ましい宇喜多家武将の姿で登場し、岡山の歴史を語り、参加者に甲ちゅう着付けを行いました。



備中神楽北山社「大蛇退治」

また、備中神楽「大蛇退治」の演技披露では、大蛇が舞台を飛び出して迫って

くる場面やスサノオノミコが戦いに勝利する場面に歓声上がり、言葉や文化の壁を越えて会場全体が一つになりました。岡山市内ではめったに見ることができない備中神楽の大迫力の演技に引き込まれました。

「いろいろな国の人に出会え、神楽を通して日本文化を学ぶことができ、とても楽しかった」との感想が寄せられました。



こちらのQRコードを読み取り、動画をご覧ください。



岡山戦国武将隊と記念撮影

世界には、日本では見られない便利なデリバリー(配達)があるようです。

韓国



張 ウンシルさん
(ソウル出身)
韓国語講師/滞在歴:9年

Q: 韓国でデリバリーが一般に浸透してきたのは何年前からですか。
A: 30年~40年前から、デリバリーは韓国人の食文化に欠かせない習慣となっています。250年前の朝鮮時代、立身出世の登竜門である「科挙カコ」の受験者が、試験が無事に終了したお祝いとして冷麺をデリバリーで頼んだという記録が残っています。実に長い歴史ですね。

Q: 一番人気のデリバリーは?

A: チキンのデリバリーです。チキン、ピザ、ジャジャ麺などは当たり前。最近はどうどん、トポッキなどのデリバリーもできました。

Q: めずらしいデリバリーがあれば紹介してください。

A: 靴磨きサービス、クリーニングのデリバリーです。職場で利用している人が多いです。

Q: 一人分でも配達してくれますか。

A: はい。韓国でデリバリーが人気なのは、店で一人で食事することをあまり好まないという理由もあります。

Q: 地域に何軒くらいのデリバリー店がありますか?

A: 100軒以上です。マンションの入り口にデリバリーのチラシ専用ボックスがあるほどです。仕事の合間や夜勤の時などにデリバリーを頼んで時間を節約している社会人が多いです。食べることと人と集まることが好きな韓国人の生活がデリバリー成長の要因だと思いますが、急速な産業発達が及ぼした影響も少なくないですね。



「洗濯特攻隊」社の配達風景
出典: <https://www.facebook.com/washswat>

フランス



マービル・コティさん
(サン・フロロン・デ・ポワ出身)
会社員/滞在歴:1年半

Q: フランスでデリバリーが一般に浸透してきたのは何年前からですか。

A: 3年半前からピザのデリバリーが始まり、フランスで流行りました。今では大手のスーパーやレストランが直接提供していることが多いです。お店はそれぞれデリバリー会社に登録しており、注文の受付や配達もデリバリー会社が行います。フランス人は室内で過ごすのが好きで、日本みたいにコンビニエンスストアが多くないので、デリバリーが増えたのだと思います。

Q: デリバリーが可能な距離は?

A: 近距離の場合は自転車でデリバリーをするのが特徴です。レストランの配達を手がけるデリバリー社の配達員はハンサムな人が多く、格好いいと話題になっています。自転車では30分以内、トラックでは1時間程度の距離ならデリバリーが可能です。

Q: 一人分でも配達してくれますか。

A: もちろんです。

Q: めずらしいデリバリーがあれば紹介してください。

A: 飲食系が多いですが、最近は処方箋を持っている人に限り、薬を配達してくれます。

Q: 一番人気のデリバリーは?

A: アロレスト社が提供している「アペレナイト」というサービスで、お酒を配達してくれます。利用時間は夜8時から朝6時までです。パーティー好きなフランス人には欠かせないデリバリーかも知れませんね。



デリバリー社の配達員

Think Global, Act Local 県内国際団体のご紹介

ネグロスキャンペーン岡山

30周年



団体概要

フィリピン・ネグロス島の人たちと交流し支え合うグループです。1980年代に砂糖の島であるネグロス島を襲った飢餓救援をきっかけに1986年に設立。農業支援と顔のみえる知恵と経験の交流、そして、対等とともに健康的な暮らしをつくる「バナナ」と「黒砂糖」の民衆交易を行ってきました。

全国的には、さらにアジア(インドネシア、東ティモールなど)にネットワークを広げ、APLAとして活動を展開しています。

岡山では、ネグロス島の皆さんを招いての交流、フェアトレードへの取り組み、バザー出店などをしています。岡山に在住するフィリピンの皆さんに多くのご支援をいただいています。

代表者 梅田 環

連絡先 〒700-0823 岡山市北区田町1-7-28 岡山バプテスト教会気付
TEL/FAX 086-231-3778 APLA <https://www.apla.jp>

活動紹介

私たちの活動30周年を記念して、2018年4月13日~17日にネグロスからお二人のゲストを招きました。バナナの民衆交易をつくってきたチータさんと、循環型有機農業研修農場の若きリーダーのジョネルさんです。「飢餓の島」から「希望の島」へを実感できるうれしい交流になりました。



「私、岡山に住んでいます」 岡山で活躍する外国人をご紹介します

はじめまして。岡山県国際交流員のエリックです。日本語の勉強は15歳頃からしています。日本での滞在は合計で3年と少しです。京都と長崎に住んだことがあります。

一セクシャルマイノリティを認識

子どもの頃から、とても保守的な出身州テキサスに対する帰属意識が低いと感じていました。7歳頃までにいろいろとあって、自分は一風変わった子だということが分かりました。まだ子どもで伝え方も分かりませんが、自分がセクシャルマイノリティだということを理解したからです。私は同性愛者です。



浴衣を着たエリックさん

子どもだった私は、生まれた世界から逃げたい気持ちが募り、遠く離れた国に行きたいと思うようになりました。そこで、中学2年生から日本語をバリバリ勉強し始めました。大人になる中で、人間は自分の狭い範囲の人生や考え方に閉じこめられた状況で生きているということを理解し、海外での仕事はただの「逃げ」ではなく、世界への理解を深めることにつながるのだと気付きました。

一国際交流員の誇り



【県庁スポーツ振興課での通訳業務】
柔道スペイン女子ナショナルチームのベルナベウ選手とくらしき川舟流しをしている様子

国際交流員の仕事で、私にとって大事な業務の一つに海外技術研修員受入プログラムがあります。このプログラムでは、途上国から様々な研修員がスキルを磨くために岡山を訪れます。研修員は、研修先で県の素晴らしい農業や医療、製造、デザインなどを学びながら活躍しています。この経験によって研修員が各々の知識を十分に高めることが、県としての重要な使命です。私は国際交流員として、県知事表敬訪問での逐次通訳、研修先の資料の翻訳、また研修修了式での通訳などを担いました。こうした事業に携われることをとても誇りに思っています。

国際課での業務は通訳・翻訳がメインになり、大学でスペイン語を専攻していたことから、スペイン語通訳の仕事もあります。



マイノリティが活躍できる社会に
岡山県国際交流員
エリック・ポゼイさん

Elic Posey

出身：アメリカ合衆国 テキサス州
興味：外国語



【県庁スポーツ振興課での通訳業務】
柔道スペイン女子ナショナルチームのコーチと選手たちに倉敷を案内



写真はその場面です。

一みなさんに伝えたいこと

以前から日本の立派な文化に引かれていたが、外国人として

生活するのはとても困難に感じることがあります。アメリカのように多様性を促進する国になる必要はないですが、岡山での暮らしでは、進歩的な活動が常に阻まれていると感じます。セクシュアルマイノリティをはじめ、外国人・女性・ミックス・他県から来た人など、少数派とされる人々や弱い立場の人々は、なかなか社会づくりに参加することができません。そこで、みなさんに考えてほしいことがあります。

- もし自分の同僚・友達・親戚がカミングアウトしたら、どのように反応すればいいでしょうか。
- 海外旅行に興味がなくとも、外国人と付き合う利益があるでしょうか。
- 女性の上司を、どのように支援すればいいでしょうか。



岡山での生活を堪能

以上のような疑問について想像することで、より心ある社会がつくられていくのだと思います。いろいろな人々が活躍することで、社会は繁栄するのだと信じています。

助成金に関するお知らせ



平成29年度国際理解学習プラン講師派遣事業報告

専門的知識と国際経験を有する県内のNGOを学校の授業の講師として派遣。7団体が県内小中高校13で学習プランを実施しました。

派遣団体	実施校	プラン名/実施内容
アジア農村協力ネットワーク岡山	真庭市立皆部小学校 玉野市立山田小学校 岡山市立七区小学校	【ご飯を食べて世界をめぐる 稲作文化圏の共通点と相違点】 料理実習を通して米を中心とした食文化を学ぶ場を提供した。
アジアの教育支援の会	岡山市立第一藤田小学校	【世界の中のわたしたち～国際理解と支援のために～】 ネパール、ミャンマーの子どもたちの現状や問題について講義を行った。
NPO法人 AMDA社会開発機構	倉敷市立二万小学校 倉敷市立箭田小学校	【参加型ワークショップで感じよう!考えよう!世界と「わたし!」】 「世界がもし100人の村だったら」を教材としたワークショップとSDGsの講義を行った。
NPO法人 岡山日本語センター	岡山市立石井小学校	【お互いの言葉・文化を尊重して、多文化共生を考えよう】 岡山の国際社会の変化や現状などについての講義や、4か国の外国人と児童との交流会を実施した。
岡山ユニセフ協会	備前市立伊部小学校 清心女子高等学校	【世界とつながる時間～わたしのとなりの人から～】 SDGsの視点を学ぶワークショップを実施した。
NPO法人 国際文化友好協会	玉野市立後閑小学校 赤磐市立豊田小学校	【知ることから始まる国際理解】 異文化への理解を深めるワークショップを実施した。5か国の留学生と児童の交流を図った。
ダフェプロジェクト	岡山市立旭東中学校	【ネパールの歌姫スナダリミカが教えるわくわく楽しい 途上国支援の仕方と「フェアトレードってなあに?」】 ネパールで歌手になった講師の講演会とコンサートを開催した。
	総社市立昭和中学校	【TERAKOYA 緑筆プロジェクト】 ネパールについての講義、古新聞などで紙鉛筆を作るワークショップを実施した。

平成29年度「国際理解・協力活動等助成金」(NGOの活性化支援事業)事業報告

下記8団体への助成を行いました。

団体名	事業名	実施内容
ダフェプロジェクト	在岡ネパール人のための無料生活相談	岡山県在住ネパール人を対象に無料生活相談窓口を開設した。
津山にほんごの会	日本語教室ボランティア講師スキルアップ研修会	日本語初級者への日本語指導法についてワークショップ形式の研修会を行った。
津山多言語交流教室	津山多言語交流教室	津山圏域住民と外国人との多言語での交流イベントを4回開催した。
NPO法人こくさいこどもフォーラム岡山	高校生懸賞論文	グローバル人材育成を目的に高校生の論文を募集し、優秀論文を表彰した。
岡山国際交流クラブ	岡山国際交流クラブ活動	外国人との交流パーティーを3回開催した。
笠岡国際交流協会	外国人親子支援「お弁当教室」	外国人・日本人親子が共に学ぶお弁当作り教室を開催した。
美作国際交流をすすめる会	美作国際ボランティアプロジェクト	外国人青年ボランティアを受け入れ、美作市内の環境美化活動、地域住民との文化交流活動等を目的とした美作ワークキャンプを実施した。
NPO法人 国際協力研究所・岡山	サンノゼ・シリコンバレー親善大使受け入れ事業	サンノゼ・シリコンバレー親善大使受け入れ事業を行った。

平成30年度「国際理解・協力活動等助成金」(NGOの活性化支援事業)事業募集

岡山県内のNGOや国際交流団体等の活動を支援するため、事業経費の一部を助成します。

対象団体	活動の本拠地が岡山県内にある国際交流・協力活動等を行っているNGO等(団体設立の準備段階にある場合も含む)。
対象事業	おおむね次に掲げる事業で、原則として平成31年1月末までに完了する事業(事業が終了しているものは除く)。 (1)国際交流または国際理解を促進する事業 (2)国際協力・貢献に関する事業 (3)在住外国人の支援に関する事業 (4)多文化共生に関する事業
助成金額	1事業につき上限5万円(原則として総事業費2分の1以内。国または地方公共団体から当該事業に助成金、補助金等の援助を受ける場合は、事業費から助成金、補助金等を控除した額を助成対象事業費とします)。
申請受付期間	平成30年5月7日(月)～7月31日(火) ※消印有効
申請方法&問合せ	申請書様式を協会のホームページからダウンロードし、郵送または持参。当事業の詳細(実施要綱、募集要項)はホームページをご覧ください。詳しくは企画情報課まで。

一般財団法人岡山県国際交流協会 公式ウェブサイト全面リニューアル! 公式Twitterも運用スタート!

岡山県国際交流協会では、国際理解や国際貢献の推進及び年々増加する在住外国人への支援充実のため、平成30年3月30日(金)に公式ウェブサイトを一新しました。

スマートフォンにも対応したシンプルで閲覧しやすいデザインに改良し、外国人住民に向けた防災情報などを強化しています。



視覚に訴えるホームページ

ニューコンテンツ

① 「緊急情報」及び「県災害時多言語支援センター※」の多言語情報」の掲載

緊急時にはトップページに「緊急情報」を表示するとともに、大規模災害時の災害関連情報を多言語(英語、中国語(簡体字)、韓国語、やさしい日本語)で表示します。

※県と一般財団法人岡山県国際交流協会(岡山国際交流センター指定管理者)は、県内に大規模災害が発生した場合に、外国人を災害弱者としないことを目的に「県災害時多言語支援センター」を設置し、情報提供をはじめ、総合的・広域的な外国人支援を行います。



新たに追加した「外国人住民のための防災」ページ

② 「外国人住民のための防災」ページの追加

③ 公式Twitterの運用開始

従来のFacebook(<https://www.facebook.com/coolopief/>)に加え、Twitterを始めます。

岡山県国際交流協会ホームページ
URL <http://www.opief.or.jp/>



岡山県国際交流協会公式Twitter
URL https://twitter.com/opief_okayama



New!!

リニューアル!!

「サテライトシステム」&「スペースビュー」

New!! サテライトシステム

2階 国際会議場で行われる講演会や学会などを8階 イベントホールにライブ中継し、サテライト会場として利用していただけるようになりました。大規模な学会、講演会で是非ご利用ください。

リニューアル!! スペースビュー(SPAC VIEW)

岡山国際交流センターの貸施設内をウェブ上で自由に移動して広さや雰囲気をバーチャルで体験していただける「スペースビュー」をリニューアルしました。画像がより鮮明になり、いろいろなブラウザでご覧いただけるようになりました。



スペースビューバナー

会員募集

一般財団法人岡山県国際交流協会では会員を募集しています。

☆会員の特典

- 会報誌「おかやま国際交流」による国際交流情報の提供(年4回)
- メールマガジンの配信(月1回)
- 協会主催事業への参加費割引(団体会員は1団体2名までを割引)
- 入会時に記念品をプレゼント

☆年会費

個人会員：2,000円 団体会員：10,000円
賛助会員：30,000円

☆申込み・問合せ 総務課まで

TEL:086-256-2000 ※9:00~17:30(月~土曜日)
E-mail:kokusai@opief.or.jp



6月

30日(土) 留学生と県民との交流会 タイ編

県内在住の留学生が講師となり、文化や習慣などの紹介をします。

- と き 6月30日(土) 13:30~15:30
- と ころ 岡山国際交流センター 7階 多目的ホール
- 参加費 協会会員・外国人・高校生以下 無料
一般 500円
- 対 象 一般県民
- 定 員 30名(要申込み)
- 申込み 企画情報課まで

7月

14日(土) 日本文化体験・交流会

外国人に日本文化を紹介・体験する機会を提供し、親しみや理解を深めてもらいます。

- と き 7月14日(土) 10:30~14:30(予定)
- と ころ 岡山国際交流センター 地階 レセプションホール、5階 会議室(3)
- 参加費 協会会員・外国人・高校生以下 無料
一般 2,000円
- 定 員 60名(外国人30名、日本人30名)
- 申込み 企画情報課まで

16日(月・祝) 「岡山のCOOL 発見!」第1回

様々な国出身の県内在住外国人4名が、岡山の防災をテーマにトークを繰り広げます!

- と き 7月16日(月・祝) 13:30~15:30
- と ころ 岡山国際交流センター 1階 ロビー
- 対 象 一般県民
- 参加費 無料(入退場自由)
- 共 催 一般社団法人大学女性協会岡山支部
- 申込み 不要 ●問合せ 企画情報課まで

21日(土) 地域共生サポーター養成講座

岡山県から委託を受けて、在住外国人を支援する「地域共生サポーター」として活動するために必要な知識を身につけます。サポーター同士の情報交換や交流の機会もあります。

外国語ができなくてもOK! 外国の方もOK! 外国人住民を支援したい方、ボランティアや多文化共生に興味のある方など、たくさんの方の参加をお待ちしています。

- と き 7月21日(土) 13:00~16:00
- と ころ 岡山国際交流センター 7階 多目的ホール
- 内 容 講義、ワークショップ、先輩サポーターからのアドバイス
- テ マ 「地域共生サポーターってなに
~日本人と外国人ともに進める地域づくり~」
- 講 師 石原 達也氏(岡山NPOセンター副代表理事)
- 登 録 当講座を修了された方には、岡山県の「地域共生サポーター」に登録していただきます。(希望者のみ)
- 参加費 無料 ●定 員 30名(要申込み)
- 申込み 企画情報課

8月

11日(土・祝) ウェストサイドカーニバル出展

- と き 8月11日(土・祝)
- と ころ 岡山コンベンションセンター ほか
- 問合せ 企画情報課まで

19日(日)・26日(日) 子ども日本語学習サポーター研修会

当協会「子ども日本語学習サポーター」登録者の継続的なスキルアップと新規登録希望者のための研修会を開催します。

- と き 8月19日(日)・26日(日) 13:00~15:00
- と ころ 岡山国際交流センター 4階 図書資料室
- 対 象 当協会「子ども日本語学習サポーター登録者」及び新規登録者
- 定 員 25名程度(要申込み)
- 申込み 企画情報課まで

26日(日) 英語で話そう

英国で演劇を学んだ講師による英語の即興舞台を鑑賞します。参加者同士の交流タイムもあります。

- と き 8月26日(日) 14:00~16:00(予定)
- と ころ 岡山国際交流センター 地階 レセプションホール
- 講 師 カン・ユンス氏(舞台演出家・俳優)
- 対 象 簡単な日常英会話ができる方、県内在住外国人
- 参加費 協会会員・外国人・高校生以下 無料
一般 2,000円
- 定 員 60名(要申込み、定員に達し次第締切り)
- 申込み 企画情報課まで(7月下旬受付開始予定)

9月

15日(土) 地域共生サポーター研修会 ースキルアップ講座ー

岡山県内で生活する外国人住民のコミュニケーションや生活面の支援を行う「地域共生サポーター」等を対象に、在住外国人が抱えている問題を知り、サポーターとして活動するための研修会を開催します。

- と き 9月15日(土) 13:00~16:00
- と ころ 岡山国際交流センター 7階 多目的ホール
- 対 象 地域共生サポーター登録者、一般県民
- 内 容 団体活動発表、県内在住外国人からのお話や交流会 ほか
- 参加費 無料
- 定 員 30名(要申込み)
- 申込み 企画情報課(7月下旬受付開始)



問合せ

一般財団法人 岡山県国際交流協会

企画情報課 企画情報班

☎086-256-2914 (月~土 9:00~17:00)

総務課 ☎086-256-2000 (月~土 9:00~17:30)

会議室等の予約 受付管理班 ☎086-256-2905 (9:00~18:00)

[休館日] 12月29日~1月3日及び臨時休館日(ただし日曜日は貸室業務以外休み)

編集・発行

〒700-0026 岡山市北区奉還町2-2-1

岡山国際交流センター内

一般財団法人 岡山県国際交流協会

☎086-256-2000(月~土 9:00~17:30)

☎086-256-2226

ホームページ: <http://www.opief.or.jp>

Facebook: <https://www.facebook.com/coolopief/>

Twitter: https://twitter.com/opief_okayama

E-mail: kokusai@opief.or.jp

協会HP

